

平成 26 年度 **第 1 回 学校評価（自己評価）集計結果**（平成 26 年 7 月実施）

○ 重点実践事項に基づいた評価

重点実践事項	評 価 項 目	評 価 () は年度末
1 障害の重度・重複化及び多様化に対応する教育課程の編成	(1) 学習指導要領の趣旨を生かした教育課程の実践に努めているか。	3. 0 (3. 3)
	(2) 児童生徒の実態を踏まえた教育活動を推進しているか。	3. 3 (3. 5)
2 児童生徒の生涯を見通し、かつ教育的ニーズに基づいた「個別的教育支援計画」の実践的活用	(1) 児童生徒の的確な実態把握に基づいた「個別の指導計画」を作成し、その活用に努めているか。	3. 2 (3. 4)
	(2) 学習効果を高める教材・教具を創意工夫しているか。	3. 3 (3. 5)
	(3) 「個別的教育支援計画」充実のための家庭及びやまびこ医療福祉センター、関係機関等との連携を図っているか。	3. 4 (3. 4)
3 本校の現状と課題を踏まえた実践的研究の推進	(1) 確かな授業改善につながる研究を推進しているか。	3. 2 (3. 3)
4 健康状態の維持・改善や安全対策及び危機管理体制の充実	(1) 多様な指標に基づくきめ細かな健康観察と教育に生かす健康相談を実施しているか。	3. 6 (3. 6)
	(2) 安心・安全な医療的ケアが実施されているか。	3. 7 (3. 6)
	(3) 効果的な感染症対策を実施しているか。	3. 5 (3. 5)
	(4) 状況に応じた緊急時対応を推進しているか。	3. 6 (3. 5)
	(5) 安全点検に基づく安全対策を推進しているか。	3. 6 (3. 5)
	(6) 一人一人を生かす学習環境を整備しているか。	3. 4 (3. 3)
5 家庭及びやまびこ医療福祉センター、地域等との連携の推進	(1) 家庭及びやまびこ医療福祉センター、地域等との連携を図っているか。	3. 6 (3. 5)
	(2) 交流及び共同学習を推進しているか。	3. 4 (3. 3)
6 特別支援教育の充実に向けた地域におけるセンター的機能の整備と充実	(1) 支援の必要な子供やその保護者、関係者に対する教育相談は充実しているか。	3. 5 (3. 4)
	(2) 近隣の関係機関や小・中・高等学校等との連携と専門性を生かした指導や支援を推進しているか。	3. 5 (3. 5)
7 肢体不自由教育の今日的課題を踏まえた教育の推進	(1) 肢体不自由教育の今日的課題を踏まえた教育を推進しているか。	3. 1 (3. 1)

※ 評価は「4：十分達成できている」「3：おおむね達成できている」「2：やや不十分である」「1：不十分である」の4段階で実施。

〈まとめとして〉

全体的におおむね「達成できている」という結果が出ている。特に本校にとって一番の土台となる「健康状態の維持・改善と安全対策及び危機管理体制の充実」の項目に関しては、十分評価できるものとなった。保健面に関わる様々な研修や日々の学習を通して、健康・安全面に高い意識で取り組んでいる成果が十分に表れているものと言える。本校では、もっとも中心となる事項だけに、今後も学校全体として家庭ややまびこ医療福祉センターと連携を図りながら取り組んでいきたい。

また、「肢体不自由教育の今日的課題を踏まえた教育の推進」に関する項目では、今日的課題とは何か、国や県の施策と本校の現状と課題を踏まえた教育のより一層の推進が求められる。県内唯一の肢体不自由特別支援学校として今後も肢体不自由教育の専門性の向上を図っていきたいと考える。「教育課程の編成」についても、今年度、その課題を共通理解し、見直しを進めているところである。教育課程を整理し、個々の実態に応じた学習計画を立て授業改善を行ったり、研修会を実施したりしながら、日々研鑽を積み重ねていきたい。